

めざす子ども像 郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標 様々な体験活動や地域の方々との交流を通して、校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、豊かな心と自主的に行動する力、コミュニケーション能力を育てる。

【今年度の取組紹介】

防災体験学習と防災講演会

中学校区の園児から高齢者までが集う行事の「ふれあい広場」は今年もコロナ禍で中止となりました。そこで、昨年同様、各校園が「命」をテーマにした取組をおこないました。中でも最大のものが100人規模でおこなった防災の学習です。コーディネーターさんと中学生が半日行動を共にしました。体験学習は、東消防署の全面的な支援を受けて、地震体験、消火器体験、煙体験、火災を想定した119番通報体験ができました。講演会では、市の危機管理課の職員のみなさんから、山間にある校区の特徴を踏まえた防災対策を学びました。大人にも子どもにも、へだたりなく訪れる災害に対する対応を学ぶことができるとても有意義な活動となりました。



【今年度のまとめ】

中学生と共に防災学習に参加して（地域の方々の感想）

- ・生徒たちが、体がぶれる事もなく講演を真剣に聞いていてびっくりしました。
- ・地域の方が同じ学習をしたことで、地域の防災意識が高まったと思いました。
- ・防災が家族の話題になってよかったと思いました。
- ・生徒にとって初めての体験を共に過ごすことができありがたかったです。
- ・現在、自然災害が多発しているので、とても良い機会に学習させて頂きました。

防災学習に参加して（生徒の感想）

- ・消火器の使い方がよくわからなかったので、体験できて良かったです。
- ・どうにかなるやろと思っていましたが、地震体験では何かにつかまらなるとやばかったです。
- ・火災体験では、煙で前が真っ白で、まったく見えなかったです。
- ・「自助」が最優先という気持ちを忘れず、防災グッズを用意したいです。
- ・冷蔵庫が倒れないように道具を買ってみたいです。

【来年度に向けて】

来年度もコロナ禍が続く場合は、各校園が分散した取組が続く中で、中学校で実施した防災学習を小学校でも実施したいです。

コロナ禍が無くなっても、この2年間で各校園の状況が変わる中、昔のように全校園が準備に時間をかけて会場満杯に地域の方を集めることは難しくなっています。そんな制約の中でも全校園が一緒にできる催しを模索していきたいです。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

【今年度の取組紹介】

地域の伝統文化を学ぶ

初めて本校の校舎に入られた方々が一様に驚かれるのが、廊下に掛けられた大量の木刀です。「木刀を置いて危なくないのですか？」と尋ねられます。

本校では、自分たちの校区のすばらしい伝統文化を自身が体験することによって、郷土を愛し誇りを持つことができると考え、7年前に2つの中学校の統合以来、柳生中学校で行われていた伝統の木剣体操・日本剣道形、興東中学校でおこなわれていた伝統の大柳生太鼓踊りを、地域の方々のご指導のもと習得しています。

今年は夏から秋のコロナの拡大で、あいにく地域の人々に公開はできませんでしたが、3年間を通した活動を続けることができました。

このような活動を続けることで、本校はユネスコスクール参加校となっています。



【今年度のまとめ】

コロナ禍で地域のみなさまを学校にお招きできなかつたので、できる活動を着実にこなしました。特に、夏休み前の浴衣の着付け教室は、地域の講師の先生のご尽力ですべての生徒の浴衣を用意して頂き、浴衣姿の集合写真はコロナ禍の貴重な思い出になりました。

また、年々人口減少が進む中でも校内の環境整備には例年以上に熱心に取り組んで頂きました。

【来年度に向けて】

少人数を生かした生徒ひとりひとりへのきめ細やかな取組が本校の特徴です。コロナ禍が続いたとしても地域人材を活かし、体験学習をより一層積極的に進めていきたいです。

また、生徒数に比べてアクセス数が多い本校のホームページを活用し、地域の方々や生徒たちに本事業の取組を伝えて、故郷を愛する気持ちを高めていきたいです。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

地域の特色を生かした体験的な活動を多く取り入れるなかで、「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。

【今年度の取組紹介】

1. 柳生の地域産業を学ぶ

3年生は地域の仕事を学ぶ学習を行っています。柳生は寒暖の差を上手く利用したお茶の産地でもあり、地域の方のご支援のおかげで茶工場などを毎年学ばせていただいています。茶畑を実際に見て、お話を聞くことで、柳生の地域を知ることができます。



2. 地域の方が見守るマラソン大会

毎年1月に本校ではマラソン大会が行われ、校外の沿道には、地域のボランティアの方々が車などから安全を見守るために立ってくださり、大きな声援を送っていただきました。子どもたちも保護者のみならず地域の方々に応援していただくことで、頑張れたと感想をたくさん書いてくれました。



【今年度のまとめ】

今年度も感染症防止対策が必要な中、地域の方々のご厚意により開催方法を工夫していただき、「お話の会」「まちたんけん」「柳生焼体験」「炭焼き体験」等、地域を知る充実した内容の体験学習、また地域の方々とのふれあいを大切にした学習活動を展開できました。学校評価アンケートから「学校は、地域と連携して特色ある教育活動を行っている」は保護者から高評価の結果が出ています。地域の方々からの声援が、マラソン大会の子どもたちの感想にも書かれていて、子どもたちと地域の方々がさらにつながっていることを感じさせられます。

【来年度に向けて】

来年度もいろいろな体験や学習を通して、地域の伝統や産業を学び、地域の方々とのふれあいを大切にすることで、自分の郷土に誇りを持ち、自分の夢をかなえようとする子どもを育てていきたいと考えます。コロナ禍で感染症対策等の工夫をしながらも、次年度も学校、地域の実情に合わせた取組を考え、地域の和が深められる有意義な取組にしたいと考えます。また、興東館柳生中学校区での連携も工夫しながらつながりを大切にできたらと思います。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実をはかる。

【今年度の取組紹介】

地域の方々との出会いを大切に、地域の教育力をお借りして、今年度も本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”は、米に関わる様々な体験を「つながり学ぶ」大切な学習事業となっています。子どもたちは、5月の田植えに始まり、10月の稲刈り、11月の粃摺りと色々なお話を聞いたり、体験をしたりすることができました。更に今年度は12月のしめ縄づくり、1月の大とんどまで、年間を通して本当に地域の方々にお世話になりました。

本校にとってこの米作り体験は、「地域に学ぶ体験学習事業」の豊かな学びの軸となる取組です。

その他にも1・2年生の焼き芋体験、3・4年生の蜜蝋でのろうそく作り体験、白砂川でのニジマスの放流体験、絵手紙教室、また、6年生の校区歴史遺産学習として、運慶作の仏像等、国宝をもつ円成寺を訪問しています。新型コロナウイルス感染症防止のため実施することができていない行事もまだまだありますが、ここまでたくさんの活動が実施できたことは、地域の方々のご協力のたまものであると感謝しています。



【今年度のまとめ】

本年度も地域の方々の熱心な支援・協力のもと学校としての取組も順調に進めることができました。どの体験活動でも児童が生き生きと活動し、楽しそうにしている姿から本当に貴重な経験をさせていただいていると感じました。子どもたちにとって、体験活動が有意義なものであり、楽しかったことが学校評価アンケートにも結果として表れていました。また、地域の方々から色々な話を聞き、一緒に体験することで、地域の方々とのつながりがさらに深まっていると思います。

【来年度に向けて】

来年度も校区の歴史や伝統・産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、いろいろな体験を通して感性を育てることで、自分の郷土を誇れる児童を育てていきたいと考えます。コロナ禍により、人と人の繋がりが薄れていってしまっている中、次年度も地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固たるものにしていきたいと思っています。

めざす子ども像

郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

自然や地域の人との関りを通して、豊かな心を育み、
主体的に活動に取り組もうとする態度を育成する。

【今年度の取組紹介】



【絵画活動】

大きな紙にみんなでのびのびと絵を描きました。木の周りには、一人一人の手型スタンプ。動物やお花などに見立てました。



【お話の会】

楽しく、愉快的な先生のお話に子ども達は物語の世界に引き込まれていきました。



【染物体験】

園で収穫した玉ねぎの皮をみんなでむきました。皮を煮出すとこんなにきれいな自然な色に染まり、大喜びでした。



【英語であそぼう】

4、5歳児対象に身近な歌や色、体の部位などの英語を教わり、一緒に言ったり、体を使って遊んだりしました。

【今年度のまとめ】

・地域教育協議会に参画させていただき、中学校区内の学校および地域コーディネーターの方々のご理解とご協力をたくさんいただいたおかげで、この地域ならではの豊かな自然の恵みを活動の中にたくさん取り入れ、また、地域の方々にも講師として来ていただき、子ども達に幅広い豊かな体験活動を教えていただけたことで、興味・関心が深まり、心も体も豊かに成長している様子が子ども達の言動から実感しています。

【来年度に向けて】

・今年度同様に、地域の方々の教育力を取り入れ、地域と共に子ども達の成長を温かく見守りながら、心を育む感動体験を積み重ね、主体的に取り組もうとする態度や、たくましく生きる力を育むための保育内容の工夫や、校区内の小・中学校とさらに連携を深めていきながら、地域に根づいた教育施設として幼児教育の取組を実践していきたいと考えます。